

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成22年1月21日 (2010.1.21)

【公表番号】特表2009-526908(P2009-526908A)

【公表日】平成21年7月23日 (2009.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-029

【出願番号】特願2008-554586(P2008-554586)

【国際特許分類】

C 2 2 C 38/00 (2006.01)

C 2 2 C 38/54 (2006.01)

H 0 1 M 8/02 (2006.01)

H 0 1 M 8/12 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 38/00 3 0 2 Z

C 2 2 C 38/54

H 0 1 M 8/02 B

H 0 1 M 8/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月27日 (2009.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

【図 1】図 1 は、鉄、クロム、マンガン及びランタンからなる合金 1 1 上の酸化物層 1 3 を示す。

【図 2】図 2 は、鉄、クロム、マンガン及びランタンからなり、チタンを添加した合金 2 1 上の酸化物層 1 3 を示す。

【図 3】図 3 は、鉄、クロム、マンガン及びランタンからなり、置換を添加しかつケイ素で置換した合金 3 1 上の酸化物層 1 3 を示す。

【図 4】図 4 は、鉄、クロム、マンガン、ランタン、ニオブ及びタンゲステンからなる合金 4 1 上の酸化物層 1 3 を示し、酸化物層 1 3 と合金層 4 1 の間に配置されたニオブ富化酸化物層 4 7 を有する。

【図 5】図 5 は、鉄、クロム、マンガン、ランタン、ニオブ及びタンゲステンからなり、ケイ素置換した合金 5 1 上の酸化物層 1 3 を示す。

【図 6】図 6 は、合金粒界の所の  $\text{Fe}_2(\text{M}, \text{Si})$  のタイプの析出物 (5 6) 並びに合金粒中の  $\text{Fe}_2(\text{M}, \text{Si})$  のタイプの析出物 (5 5) の走査電子顕微鏡写真を示す。